

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

|                |                               |     |            |
|----------------|-------------------------------|-----|------------|
| ○事業所名          | もぐすたぶらす                       |     |            |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 12月 20日 ～ 2025年 12月 31日 |     |            |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 42人 | (回答者数) 27人 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 12月 22日 ～ 2025年 12月 31日 |     |            |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 11人 | (回答者数) 11人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 14日                  |     |            |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること      | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                             | さらに充実を図るための取組等                                                                                        |
|---|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 子どもの発達段階や特性に応じて、活動内容や職員配置を工夫し、安心して過ごせる支援を行っている。 | ・子どもの発達段階や特性を踏まえ、活動内容や関わり方、グループ分けを柔軟に調整している。<br>・安心して過ごせるよう、必要に応じて個別対応や小集団での支援を行っている。<br>・子どもの得意なことや興味関心を取り入れ、意欲的に参加できる活動を工夫している。 | ・支援内容を定期的に振り返り、より適切な支援方法を検討する。<br>・子どもの変化や成長を職員間で共有し、支援の質の向上につなげる。<br>・活動の幅を広げ、成功体験を積み重ねられる機会を増やす。    |
| 2 | 定期的な研修や会議を通して、職員の専門性向上と支援の質の向上に努めている。           | ・週1回の研修や毎日の会議を行い、支援に対する共通理解を深めている。<br>・日々の支援を振り返り、職員同士で意見交換を行う機会を設けている。<br>・子ども一人ひとりの支援方針について話し合い、統一した関わりを意識している。                 | ・研修内容を実際の支援に活かせるよう、継続的な振り返りを行う。<br>・職員それぞれの経験や得意分野を共有し、チームとしての支援力を高める。<br>・支援の方向性を明確にし、職員間の連携強化につなげる。 |
| 3 | 集団活動を通して、社会性やコミュニケーション面への支援を行っている。              | ・小集団を取り入れている。<br>・子ども同士の関りも大切に支援をしている。<br>・専門的实施支援を取り入れている。                                                                       | ・さらに活動内容の幅を拡充する。<br>・個別配慮とのバランスを調整する。<br>・子どもの主体性を高める工夫を行う。                                           |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること      | 事業所として考えている課題の要因等                                                                         | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                  |
|---|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | やむを得ない事情による急な欠勤が発生することがあり、安定した勤務体制の確保が課題となっている。 | ・やむを得ない事情による急な欠勤が発生することがある。<br>・やむを得ない欠勤により人員配置に余裕がなく、手厚い支援が難しい場面がある。<br>・業務が特定の職員に偏りやすい。 | ・スポット職員の制度をうまく活用し、有資格者の確保に努める。<br>・情報共有を徹底し、急な変更にも対応できる環境を整える。                                        |
| 2 | 職員間での情報共有や連携が十分に行き届かない場面がある。                    | ・非常勤の職員は情報共有の時間が十分に確保できず、職員によって持っている情報に偏りがある。<br>・引継ぎや共有の情報も多くあるため、職員全員への周知が難しい場面がある。     | ・短時間でも情報共有の場を直接設け、支援内容を確認する。<br>・データベースのみでの管理だけではなく、紙面で情報を共有するなど、職員全員が情報を周知できるよう工夫する。                 |
| 3 | 記録業務に時間を取られ、本来の支援準備が十分に確保できない。                  | ・記録業務に時間がかかり、支援準備の時間が不足している。<br>・教材作成や環境整備が後回しになりがちになっている。                                | ・教材ストックを増やしていく。<br>・記録の書き方を統一する。<br>・記録の効率化について検討を重ね、より良い形となるよう日々見直しを行っていく。<br>・記録の効率化のため、ICT導入も検討する。 |